

■そこさしあみ ぎよぎょう せんもんきゅう がっかしけんもんだい こうひょうよう

1. ( ) そこさしあみでは あじや ぶりを ぎよかくする。
2. ( ) そこさしあみは ほそくて かいちゅうで みえにくい いとをつかって つくられている。
3. ( ) めじるしうきは あみと あみの つなぎめに めじるし としてつける。
4. ( ) あみが やぶれたときは あばりと あみいとを つかい しゅうりする。
5. ( ) あみが おおきく やぶれた ばあいは ぱっちあて または 1たん すべてを あたらしい あみに とりかえる。
6. ( ) そこさしあみの りょうたんに あんかーは とりつけない。
7. ( ) 1たんずつの あみを つなぎあわせるときに つかう いとを せばいと と よぶ。
8. ( ) ぎよじょうは ぎよぐんたんちきで かいいていけいや ちょうりゅうを しらべながら さがす。
9. ( ) あみを うみに いれるとき しおの ながれを かんがえる ひつようは ない。
10. ( ) どうもう するときは ふねの そくどを おそくして あみが からまないように おこなう。
11. ( ) どうもうが おわったら あみまちをして ようもうする。
12. ( ) あみを うみから ひきあげるとき かの とりかたに きをつける ひつようは ない。

13. ( ) あみを うみから ひきあげるのに かかる じかんは あみの  
ながさに よって かわる。
14. ( ) ひきあげた あみは ぱいぷを とおして ねっときやりやーで  
せんびに おくられる。
15. ( ) ねっときやりやーで せんびに おくられた あみを せいりせい  
とん しておく ひつようは ない。
16. ( ) あみから さかなを はずすときは さかなに きずを つけても  
よいので はやく とりはずす。
17. ( ) どうもうのとき あみや ろーぷに ちゅういする ひつようは  
ない。
18. ( ) ようもうのとき かいてんしている ろーらーに まきこまれない  
ように ちゅういする。